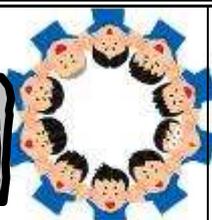


～ かがやく杉谷っ子のために ～

# ONE TEAM



島原市立第四小学校  
学校だより No.145  
令和5年8月21日(月)  
文責：校長 大槻浩二

## 2学期スタートに向けて！

登校日の子どもたちの様子から、子どもたちは充実した夏休みを過ごしていることが伺えました。42日間の夏休みも残りの10日間の過ごし方がとても重要になってきます。2学期のスタートで出遅れないように次の3点をご指導ください。

### ①「命を守る行動を」

残念ながら、夏休み中に児童の交通事故がありました。幸い命に別状はありませんでしたが、大きなけがとなり長期の治療が必要となりました。その他にも、骨折などのけが、感染症の報告もありました。登校日に各学級でも再度指導しましたが、2学期が無事に迎えられるように各ご家庭でも再度、指導と見守りをお願いいたします。

### ②「生活リズムを整える」

2学期のスタートに向けて、生活リズムを通常の学校生活に合わせて整えさせてください。基本的には、「早寝・早起き・朝ごはん」です。

### ③「課題は確実に終わらせる」

2学期がスタートしても、終わらなかった夏休みの宿題を昼休み等でしている児童が毎年います。公正公平の観点からも全児童に与えた同じ課題は、終わるまで取り組みませます。終わらなかった課題をそのままにしておくと頑張って終わらせた児童の不満につながり、不必要なトラブルを生みます。また、課題は、意図的に出しています。言い換えれば、「今、身に付けておかなければ困る内容」です。夏休み明けには、内容の定着具合をみるテストも実施します。夏休みの負の貯金を2学期に持ち越さないように課題を確実に終わらせているか、指示された内容通りになっているか、一つ一つ保護者のみな様による確認をお願いします。



## 9月4日、5日は、給食後に下校します

昨年度から実施しておりますが、夏季休業明けの2学期始めの児童の体調を考慮し、徐々に学校生活リズムに戻すことを目的に、始業式の9月1日(金)に加え、9月4日(月)・5日(火)の2日間を午前中の学習とし、給食終了後、下校することといたします。なお、両日も給食があります。ご理解とご協力をお願いします。

生活リズムを整える目的を踏まえ、下校後の過ごし方についてご指導願います。

- 下校時刻：12時50分頃
- 放課後子ども学習室のスタートは、9月6日(水)からです。
- 学童への連絡は、各家庭でお願いします。

## 2学期から、朝の健康観察フォームの入力・送信は不要です

本校では、朝の子どもたちの健康状態を把握し、感染症への早期対応を図るために「健康観察フォーム」を使って、スマートフォン等により入力・送信をお願いしてきました。このシステムにより、学校内での感染拡大を防ぐなど大きな効果をあげてきました。保護者のみな様のご協力のおかげです。

おしらせ

5類移行後も、脱マスク後の感染状況の推移を見守ることを主な目的に、1学期間は継続してきました。1学期の感染状況を鑑み、校内での感染拡大は見られなかったことから、文科省のガイドラインに沿って、検温の実施、フォームでの入力・送信は、2学期から不要とします。なお、感染症の流行期には、再度活用する機会があることを御了承ください。児童の健康状態で気になる場合は、電話か連絡帳でお知らせください。

## 奉仕作業・相撲大会のご協力について

8月9日に、安心安全メールにてお知らせしておりますが、「育友会学校環境整備奉仕作業」を8月27日(日)に実施いたします。子どもが安全に学校生活や登下校ができるために、通学路や学校周辺、運動場の整備となります。子どもたちでは、できない箇所や作業になりますので、ご協力をお願いします。本活動は、全育友会員が対象ですので、各家庭から1名以上の参加をお願いします。今年は、熱中症対策として、開始時間を1時間早め7時にスタート、作業次第では、早めに終了します。



午後からは、杉谷地区青少年健全育成協議会主催の「杉谷地区風除け少年相撲大会」が4年ぶりに実施されます。ご協力をお願いいたします。

### 子どもの夢を支える

嬉しい知らせが、飛び込んだ。

教え子が、世界初挑戦で金メダルに輝いた。

レスリング「C」世界選手権で優勝した島原高校

二年生 小川大和選手だ。

二十四年前に創設した南島原レスリングクラブの門を叩いたのは、十三年前、彼が四歳の時だった。

転勤の関係で、小学校高学年までで指導を離れたが、当時から将来を楽しみにしていた一人だ。

彼の夢は、当時から「オリンピックで金メダル」。当時から明確に口にし、ぶれることがなかった。

県内で中学校の部活動にレスリング部はないため、中学校で競技を変更するか、他の部活動とクラブでの練習の二足の草鞋を履くか、選択を迫られる。

そんな中、彼はレスリング競技に専念し、高校の練習に参加しながら、夢の実現に向け努力した。

身体的な能力はもちろん、「直向きな練習姿勢」「指導への素直な態度」「勝っても謙虚な姿勢」「周りへの感謝」が、才能を開花させた。これは、これまで活躍した選手や学校教育でも「伸びる子」に共通する。

周りの大人のサポートも大きい。子どもの夢を支えるには、言葉の励ましも大切だが、夢を叶えるための具体的な方法を示すことが大切だ。

四小の子どもたちの夢を支える学校・教師・大人でありたい。

学校・教師・大人でありたい。

